

KOMORO WINE 50th Anniv.

ワインと農に魅せられ、自然に囲まれた小諸の地で、ブドウづくりへ情熱を注ぐ生産者たちがいます。その想いを、自身もワインづくりに取り組む小諸市農ライフアンパサダーの**武藤千春**が、お届けします。

#02

北海道出身の川口^{きよし}聖さん。2016年に小諸市に移住し、日本では珍しいスイス原産のシャスラをはじめ、十数種類のワイン用ブドウを栽培しています。もともと耕作放棄地だった畑を開拓し、約1haの面積を栽培しています。滝原のほ場は「希望の畑」芝生田のほ場は「希望の畑」と名づけ、作業はほぼ一人でこなしています。20年にはファーストヴィンテージとなる「晃葉2019」をリリースしました。食べることも飲むことも大好きだという川口さんは、料理に合わせて品種の選定を行い、魚介類に合うワインや和食に合うワインを目指しているのだそう。拠点を小諸にした理由は、「東御市のワイナリー兼人材養成施設のアルカンヴェイニユに通っていたので、東信地域を中心に探していました。小諸市はほかの地域に比べて気温と湿

度が低いので、病気になりにくいんです。また都心からのアクセスも良く、東京・軽井沢が近いからマーケティングの面でも良いと思いました。小諸にはブドウ栽培の仲間もいて、わからないことがあったら聞けるし、総合的に考えて小諸にしました。ただ北海道出身ということもあって、魚介類とか生ものが好きだから海が恋しいときもあります笑」と川口さん。社名のグラン・ミュールはフランス語で「熟した種粒」という意味。2017年に苗木の定植をしてから6年。川口さんのこだわりのブドウ畑とワインに期待が高まります。

↓ 続きは
こちら



Grain Mûr

川口^{きよし} 聖さん

〒384-0802 小諸市乙 656-25
info@grain-mur.com